

目次

はじめに――采女とは――	1
一 七世紀中・後期の因幡――評の設置と分割――	5
『因幡国伊福部臣古志』と水依評／因幡国と水依評との関係についての諸説／高草郡の分出／七世紀中・後期の因幡	
◆コラム 『因幡国伊福部臣古志』の信頼性／因幡国造氏と国造氏	
二 伊福吉部徳足比売臣（いほきべの とこたりひめのおみ）	22
骨蔵器の銘文／采女になった時期／天武朝から文武朝の徳足比売と因幡／徳足比売の死	
◆コラム 古代人の名前の構造―氏・姓・名―／「伊福部」と伊福部臣氏	
三 因幡八上采女（いなばの やかみのうねめ）	35
二つの人物像／安貴王の妻／藤原浜成の母／采女を貢進する郡／「八上采女」と記された木簡／元明朝から聖武朝初期の八上采女と因幡	
◆コラム 采女は結婚できるか	
四 国造浄成女（くにのみやつこの きよなりめ）	49
因幡出身の最高位者／宝亀二年の昇進の背景／称徳天皇の崩御と女官たちの動向／采女になった時期／桓武天皇との出会い／光仁朝から桓武朝の五位以上の采女／聖武朝から桓武朝の浄成女と因幡／因幡内親王の乳母、因幡国造苗取／浄成女の死	
◆コラム 外位―畿内貴族と地方豪族の昇進の差異／采女を出すメリット／改名好きの称徳天皇	
五 八世紀末の因幡――『因幡国伊福部臣古志』の成立――	72
「新たな」因幡国造氏の成立と因幡国内の変動／『因幡国伊福吉部臣古志』の成立	
◆コラム 因幡守氷上川継の謀反	
おわりに	77